



dlogBT・USB温度センサー：DB1201  
クイックスタートガイド

このたびは当社の製品をお求めいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前にこのクイックスタートガイド（本書）とオンラインマニュアルをよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
なお、お読みいただいた後もクイックスタートガイド（本書）を大切に保管してください。

本書では接続方法や基本的な設定方法のみ説明しています。  
機能のより詳しい説明や最新の情報については、弊社HPのオンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアル <https://www.dlog.jp/guide/>

なお、本器及びアプリの仕様は改良の為、予告なく変更する場合があります。



安全にご使用いただくために

本器をご使用になる前に本書をよくお読みください。  
故障や破損の際は、購入された販売店までご連絡ください。

- ⚠ 警告 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
- ⚠ 注意 人が傷害または財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

⚠ 警告

- 指定の方法、条件以外での使用は絶対に行わない。
- 落下や過度の衝撃、振動を与えない。  
本器を破損したり重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 故障が疑われる場合は使用しない。  
使用前に亀裂、破損等の異常がないかを十分確認し、本器の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
- 本器の分解、改造は行わない。  
修理が必要な場合は、購入された販売店にお問合せください。
- 本器は防水構造ではないため水で濡らしたり、濡れた手で扱わない。  
本器を破損したり、感電や重大事故を引き起こす恐れがあります。
- 本器を加熱したり火中に投入しない。  
破裂による火災、怪我の恐れがあります。
- 危険物、発火物、爆発の恐れがある場所では使用しない。  
重大事故を引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意

- 高温や低温、直射日光が当たるところ、車中、湿気やホコリの多いところでの使用や保管はしない。
- 急激な温度変化のある場所では使用しない。  
低温からの急激な温度変化では、結露の原因となります。
- 周囲に雑音を発生させる装置のある場所や静電気の溜まっている物体の近くでは使用しない。  
動作が不安定になる原因になります。

防水について

⚠ 注意

本器は IP66 準拠の防塵防水構造なので、水が掛かるなど噴流に対しては保護されますが、水没させたり、水分が付着したままの状態では使用しないでください。

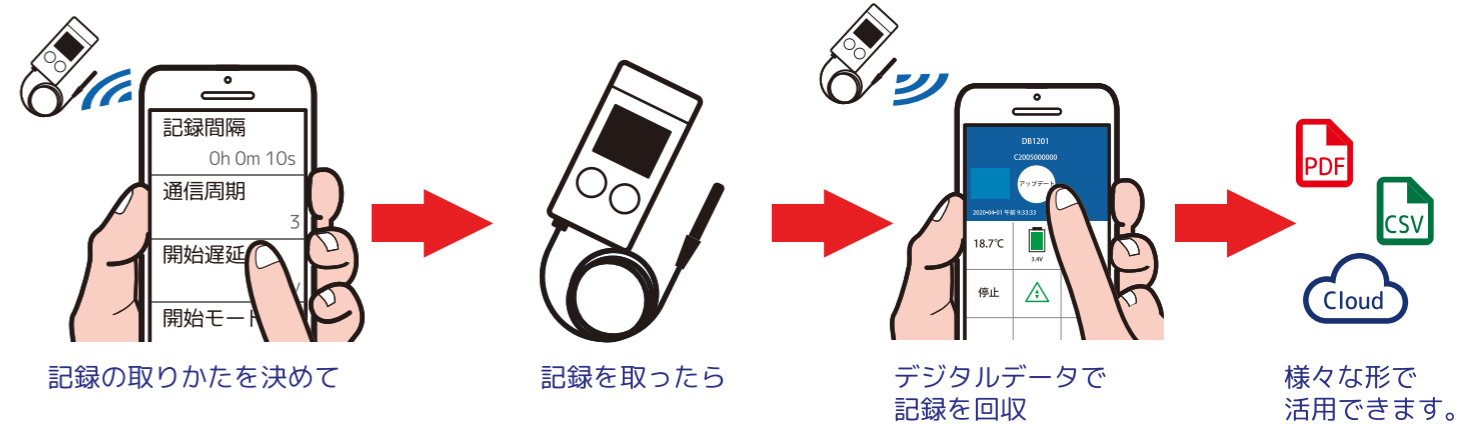
電池について

液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による重大事故を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

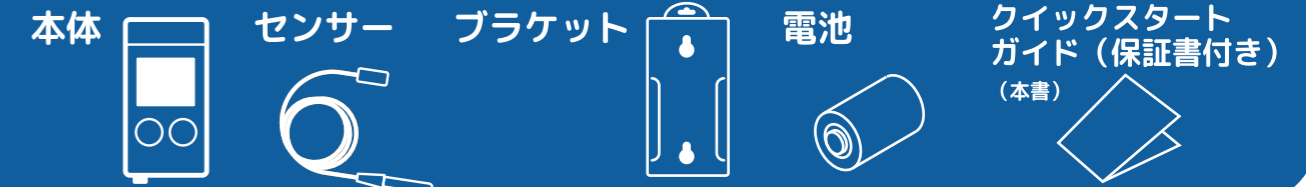
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置く。  
万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池の液が目に入った皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。  
失明や皮膚に障害を起こす恐れがありますので、医師の治療を受けてください。
- 電池の液は舐めない。  
万一、舐めた場合はすぐにうがいをして、医師に相談してください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造をしない。
- 電池のプラス、マイナスを逆に使用しない。
- 付属の電池を充電しない。
- 電池のプラス、マイナスを針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管をしない。
- 指定されている電池以外は使用しない。
- 使い切った電池はすぐ本器から取り出す。
- 本器が濡れている時や湿気の多い場所では電池を交換しない。  
また濡れた手で電池を交換しない。
- 電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行う。
- 長期間使用しない場合には、本器から電池を取り出す。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

DB1201は、こんな使いかたができる製品です。



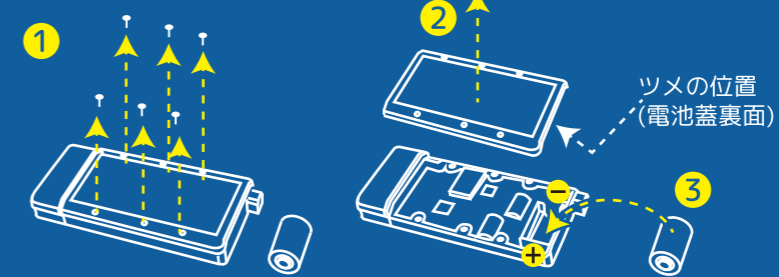
1 まずは内容物を確認しよう！

開梱したらすぐにキズや変色など外観上の異常や付属品に欠品がないかを確認してください。  
万一、不具合がありましたら購入された販売店までご連絡ください。



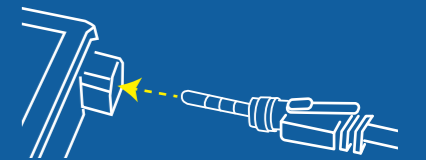
2 測定の前にチェックしよう！

電池の取り付けかた



- ① 本体裏面のネジを6本取り外す。
- ② 電池蓋を取りはずす。
- ③ 電池を入れたら、蓋とネジを戻す。  
本体には防水対策用のパッキンが電池蓋との接触する部分に取り付けられています。パッキンを取りはずしたり、所定の位置からずれたままにするなど、密閉性が不十分な状態で使用すると防水性能に影響が出ます。  
蓋を戻す際は、裏面（電池側）にあるツメの位置に注意しながら戻します。

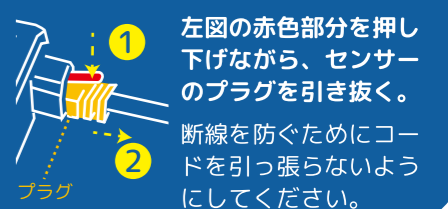
センサーの取り付けかた



“カチッ”と音がするまでしっかりと差し込む。

差し込みが不十分な場合は、本体の電源を入れても液晶画面に“E001”が表示されて、使用できません。  
また、センサーの差し込みが不十分な状態で使用すると防水性能に影響が出ます。

センサーの取りはずしかた



断線を防ぐためにコードを引っ張らないようにしてください。

保証書

株式会社 カスタム  
印ス会

保証規定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
  - a 不適当な取扱い、使用による故障
  - b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障
  - c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
  - d その他当社の責任とみなされない故障

型番	DB1201	シリアルNo.	
保証期間	年 月 日より1カ年		
お客様	お名前 様		
	ご住所		
販売店	電話番号		
	住所・店名		

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

本保証は製品自体に対して適用されます。製品の設置や接続環境については適用外です。

株式会社 カスタム  
〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12  
TEL: 03(3255)1117 FAX: 03(3255)1137  
<https://www.kk-custom.co.jp/>

お問い合わせ窓口電話 03-3255-1117

製品に関するお問い合わせは、接続後「2」番を押してください。  
※ガイダンスの途中でも操作可能です。

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日を除く)

3 アプリの準備～接続

裏面をご覧ください。

4 記録開始 & 停止

裏面をご覧ください。

5 記録の確認

裏面をご覧ください。

# 3 アプリの準備～接続

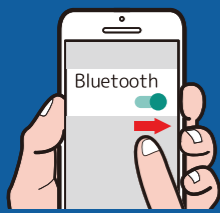
## スマートフォン

### 1 スマホのアプリの準備をする

下のQRコードをカメラで読み取ってアプリをインストールします。



### 2 Bluetooth® 通信機能をオンにする

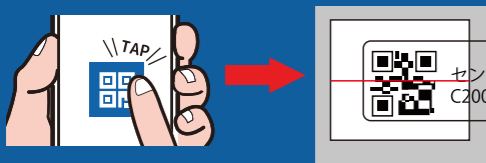


具体的な手順はスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。  
※ペアリングを行う必要はありません。

### 3 スマホのアプリを起動する。



### 4 QRのアイコンをタップして、本体のQRコードを読み取る



アプリに製品本体が登録されたので、dlog本体の設定ができるようになります。使用前には必ず設定を行ってください。

#### こんなときは

スマートフォンのBluetooth通信はオンなのに、本体のQRを読み取っても登録ができない。  
→本体のBluetooth通信がオンか確認します。



## Windows PC

### 1 Windowsアプリの準備をする

下のURLからアプリをインストールします。

<https://www.dlog.jp/win/>

※ macOSには対応していません。

### 2 PCのUSBポートにdlog本体をつなぐ



### 3 Windowsのアプリを起動する。



### 4 dlog USB をクリックする。



### 5 dlog 本体の設定を確認/変更する。



設定が完了したら、X（終了）を押してアプリを終了します。  
アプリが終了している時は、dlog本体をWindows PCから取りはずすことができます。

# 4 記録開始 & 停止

#### 記録開始



STARTボタンを長押しします。



画面の左上に▶が点灯します。

#### 記録停止



STOPボタンを長押しします。



画面の左上に■が点灯します。

# 5 記録の確認

## スマートフォン

### 1 スマホのアプリを起動する。



### 2 スマホのアプリの接続ボタンを押す。



### 3 スマホにデータが取り込まれたので、記録の確認や共有ができます。



## Windows PC

### 1 PCのUSBポートにdlog本体をつなぐ。



### 2 Windowsアプリのdlog USBを開く。



dlog本体のLEDが点滅（赤々緑）している場合は、Windowsでdlogが表示されるまで少し時間がかかる時があります。

### 3 Windowsアプリからdlog本体に保存されたデータの確認や共有ができます。

#### または

dlog本体には記録データからPDFファイルとCSVファイルを自動作成する機能があります。PCのUSBポートに繋ぐとこれらのファイルをWindowsアプリを使わずに取り出せます。

#### 主な仕様

センサータイプ	サーミスタ
測定範囲	-60.0 ~ +160.0 °C (センサー先端部のみ)
分解能	0.1 °C
精度	±0.5 °C (-20.0 ~ +100.0 °C) ±1.0 °C (-60.0 ~ -20.1 °C、+100.1 ~ +149.9 °C) ※ +150.0 ~ +160.0 °Cは参考表示
ログタイプ	繰り返し使用可能
メモリー数	32,000
記録間隔	10 秒~18 時間 0 分 0 秒 (1 秒単位で設定可)
記録可能期間	約 1300 日間 (記録間隔: 1 時間)、 約 22 日間 (記録間隔: 1 分)、 約 3 日間 (記録間隔: 10 秒)
使用温湿度	-40 ~ +80°C、85%RH (但し、結露のないこと) Bluetooth 通信が必要な場合は -25 ~ +80°C
防塵防水性能	IP66 準拠
通信距離	見通し 10 m*1
対応 OS*2	Windows 10、Android 9、iOS 13
Bluetoothバージョン	Bluetooth 4.0
寸法	約 W47×H108×D16 mm (センサー除く)
ケーブル長	約 100cm
質量	約 90 g (センサー、電池含む)
電源	ER14250 リチウム電池 ×1 本*3
電池寿命	約 1 年 (1 日 2~3 回のデータ受信の場合)*4
付属品	センサー、壁面取付用ブラケット、センサーケーブル、 リチウム電池、クイックスタートガイド (保証書付き)

\*1 通信距離は、通信を行う機器の性能やそれぞれの電池残量、周囲の環境に依存します。

\*2 対応 OS バージョンの最新情報は弊社 HP にてご確認ください。

\*3 本器に付属の電池は試供品です。市販の通常の電池よりも電池寿命が短いことがあります。交換用の電池は製品をご購入の販売店にお問い合わせください。

\*4 使用頻度、使用状態により電池の寿命は短くなります。  
・本器及びアプリの仕様および外観は、改良の為予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

・お使いになる端末の種類によっては画面の構成が本書と異なる場合があります。

#### 【Bluetooth機器について】

##### 機器認定について

本器は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けたモジュールを使用しています。 208-190043

- ・本器を使用する際に、無線局の免許は必要ありません。
- ・本器を分解、改造して使用すると、電波法違反になる場合があります。
- ・日本国外で使用しない。国によって電波使用の制限が異なり、本器を使用した場合に罰せられることがあります。

#### 本器を使用する際の注意事項

本器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要するアマチュア無線局、免許を要しない特定小電力無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

・本器を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。

・万一、本器と他の無線局との間で電波干渉が発生した場合は、速やかに本器の使用場所を変えるか、機器の運用（電波の発射）を停止してください。

・不明な点や、その他お困り事が生じた場合は保証書に記載の連絡先までお問い合わせください。

本器は2.4GHz帯を使用します。  
変調方式としてDS変調方式を採用し、  
与干渉距離は10mです。



#### 【商標について】

・Apple、Apple ロゴ、macOSは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.のサービスマークです。

・Android、Google Play、Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

・MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

・QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

・上記以外の製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

さらに詳しい情報はオンラインマニュアルをご覧ください。

<https://www.dlog.jp/guide/>

